

## 令和3年度 第3回 久留米市国民健康保険運営協議会議事録

1 日 時 令和4年1月13日(木) 13:30~14:15

2 場 所 久留米市職員会館 メルクス3階 ホール

3 出席者 (委員)

区 分	氏 名	出 席
公益代表	田中 功一	○
	南島 成司	○
	吉武 憲治	○
	大熊 博文	○
被保険者代表	馬場 淳子	○
	甲斐 サエ子	○
	田中 孝子	
	永松 千枝	○
保険医又は保険薬剤師代表	田中 二三郎	○
	首藤 俊介	○
	本村 精二	○
	杉本 奈緒美	○
被用者保険等保険者代表	大淵 工	○
	権藤 裕子	

※リモートでの出席者含む

(事務局)

健康福祉部 部長	窪田 俊哉
健康福祉部 次長	川崎 勝之
健康推進課 課長	柴尾 晴信
地域保健課 課長	本松 寿史
健康保険課 課長	星野 正和 他

(傍聴者)

なし

#### 4 質疑要旨

3 諮問事項説明			
委員 ①	賦課限度額の対象者数は何人か。	事務局	対象となるのは、約 1,000 世帯と見込んでいます。調定額としては、3,000 万円ほどとなる見込みです。
委員 ②	賦課限度額の対象となる、年収はどのくらいか。	事務局	給与収入では、一人世帯だと 8,823,000 円以上の収入がある方が賦課限度額の対象となります。 また、事業所得の場合は、一人世帯であれば、6,840,000 円以上の方が対象となります。
4 審議			
(1) 令和 4 年度久留米市国民健康保険料率等の諮問			
① 保険料率等について			
委員	<p>コロナ禍で、経済も不調という状況で、保険料率が上がるというのは、市民にとっても抵抗感があると思う。</p> <p>現行のまま据え置きということなら、市民の了承も得られるのではないかと思うので、公益の代表者としては、こちらの内容で了承したい。</p>		
委員	<p>前年度と比べ、被保険者数が減少し、賦課限度額は上がるということだが、保険料率はこのまま据え置いていただかないと市民への影響が大きいので、据え置きでよろしいかと思う。</p>		
委員	<p>このまま据え置きでいいのかとも思うが、だんだん余剰金はなくなっていくという現実を見据えて、何とかしなければならないと思う。</p> <p>現在、薬の安定供給ができない状況だが、調剤薬局も頑張っているのご理解いただきたい。</p> <p>据え置きで了承する。</p>		
委員	据え置きで了承する。		

委員	現行のまま据え置きでお願いしたい。		
委員	据え置きで了承する。		
委員	据え置きはいいことだと思うが、多少の不安もある。しかし、現状を踏まえると据え置きで賛成する。		
委員	特に異論はないが、久留米市は市民病院を持っていない数少ない中核都市であるので、市からの助成をしっかりと行っていただきたい。		
委員	異論ない。据え置きで了承する。		
委員	現行のまま据え置きで異論ない。		
② 賦課限度額について			
委員	了承する。		
委員	3万円の引き上げも大変だが、致し方ない。了承する。		
委員	国の基準に準ずるとのことなので、賛成する。		
委員	賛成する。		
委員	賛成する。		
委員	賛成する。		
委員	異論はない。賛成する。		
委員	異議なし、賛成する。		
委員	賛成する。		
委員	異論ない。		
4 その他			
質疑なし			